

# JIS X 8341-3:2016, WCAG 2.0, ISO/IEC 40500:2012 早見表

## 1 知覚可能 Perceivable

### 1.1 テキストによる代替 Text Alternatives

1.1.1 非テキストコンテンツ **A**

### 1.2 時間依存メディア Time-based Media

1.2.1 音声のみ及び映像のみ (収録済) **A**

1.2.2 キャプション (収録済) **A**

1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済) **A**

1.2.4 キャプション (ライブ) **AA**

1.2.5 音声解説 (収録済) **AA**

1.2.6 手話 (収録済) **AAA**

1.2.7 拡張音声解説 (収録済) **AAA**

1.2.8 メディアに対する代替 (収録済) **AAA**

1.2.9 音声のみ (ライブ) **AAA**

### 1.3 適応可能 Adaptable

1.3.1 情報及び関係性 **A**

1.3.2 意味のある順序 **A**

1.3.3 感覚的な特徴 **A**

### 1.4 判別可能 Distinguishable

1.4.1 色の使用 **A**

1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**

1.4.3 コントラスト (最低限) **AA**

1.4.4 テキストのサイズ変更 **AA**

1.4.5 文字画像 **AA**

1.4.6 コントラスト (高度) **AAA**

1.4.7 小さな背景音、又は背景音なし **AAA**

1.4.8 視覚的提示 **AAA**

1.4.9 文字画像 (例外なし) **AAA**

## 2 操作可能 Operable

### 2.1 キーボード操作可能 Keyboard Accessible

2.1.1 キーボード **A**

2.1.2 キーボードトラップなし **非干渉 A**

2.1.3 キーボード (例外なし) **AAA**

### 2.2 十分な時間 Enough Time

2.2.1 タイミング調整可能 **A**

2.2.2 一時停止、停止、非表示 **非干渉 A**

2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

2.2.4 割り込み **AAA**

2.2.5 再認証 **AAA**

### 2.3 発作の防止 Seizures

2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下 **非干渉 A**

2.3.2 3回の閃光 **AAA**

### 2.4 ナビゲーション可能 Navigable

2.4.1 ブロックスキップ **A**

2.4.2 ページタイトル **A**

2.4.3 フォーカス順序 **A**

2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内) **A**

2.4.5 複数の手段 **AA**

2.4.6 見出し及びラベル **AA**

2.4.7 フォーカスの可視化 **AA**

2.4.8 現在位置 **AAA**

2.4.9 リンクの目的 (リンクのみ) **AAA**

2.4.10 セクション見出し **AAA**

## 3 理解可能 Understandable

### 3.1 読みやすさ Readable

3.1.1 ページの言語 **A**

3.1.2 一部分の言語 **AA**

3.1.3 一般的ではない用語 **AAA**

3.1.4 略語 **AAA**

3.1.5 読解レベル **AAA**

3.1.6 発音 **AAA**

### 3.2 予測可能 Predictable

3.2.1 フォーカス時 **A**

3.2.2 入力時 **A**

3.2.3 一貫したナビゲーション **AA**

3.2.4 一貫した識別性 **AA**

3.2.5 要求による変化 **AAA**

### 3.3 入力支援 Input Assistance

3.3.1 エラーの特定 **A**

3.3.2 ラベル又は説明 **A**

3.3.3 エラー修正の提案 **AA**

3.3.4 エラー回避 (法的、金融、データ) **AA**

3.3.5 ヘルプ **AAA**

3.3.6 エラー回避 (すべて) **AAA**

## 4 堅牢 Robust

### 4.1 互換性 Compatible

4.1.1 構文解析 **A**

4.1.2 名前 (name)・役割 (role) 及び値 (value) **A**

▼ **非干渉 (重要)**



**【重要】自動再生する音声、画像がある**

動くものに注意を奪われ、他をまったく利用できなくなる人がいます。たとえば音声やカラーセルは、自動再生を避け、停止可能にしましょう。

- 1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**
- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.2 一時停止、停止、非表示 **非干渉 A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

**【重要】キーボードによる操作ができる**

マウスなしで操作してみましょう。タブキーでページを一巡りでき、スペースキーやエンターキーで、リンクやボタンを操作できるか確認しましょう。

- 2.1.1 キーボード **A**
- 2.1.2 キーボードトラップなし **非干渉 A**
- 2.1.3 キーボード (例外なし) **AAA**
- 2.4.3 フォーカス順序 **A**

**【重要】閃光**

閃光を放つコンテンツはてんかんを引き起こすことがあります。点滅 (ちらつき) も、頻度によっては閃光とみなされるので注意しましょう。

- 2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下 **非干渉 A**
- 2.3.2 3回の閃光 **AAA**

▼ **全体に関わること**



**サイト全体に関わること**

ページごとに操作方法が違うようなサイト構成を避けましょう。各ページには、ページ内容が端的にわかる title をつけましょう。

- 2.4.2 ページタイトル **A**
- 2.4.5 複数の手段 **AA**
- 2.4.8 現在位置 **AAA**
- 3.2.3 一貫したナビゲーション **AA**
- 3.2.4 一貫した識別性 **AA**

**ページ全体に関わること**

ページの内容は見出しを使って構造化しましょう。文章の内容も吟味して、文章だけ読んで意味がわかるようにしましょう。

- 1.3.1 情報及び関係性 **A**
- 1.3.2 意味のある順序 **A**
- 1.3.3 感覚的な特徴 **A**
- 2.2.4 割り込み **AAA**
- 2.4.1 ブロックスキップ **A**
- 2.4.2 ページタイトル **A**
- 2.4.3 フォーカス順序 **A**
- 2.4.6 見出し及びラベル **AA**

- 2.4.7 フォーカスの可視化 **AA**
- 3.1.1 ページの言語 **A**
- 3.2.1 フォーカス時 **A**
- 3.2.5 要求による変化 **AAA**
- 4.1.1 構文解析 **A**

▼ **動画・音声**



**音声ファイルがある**

自動再生を避け、停止可能に。音声内容を簡単に説明しましょう。また、音声と同等の内容の書き起こしテキストを用意しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.2.1 音声のみ及び映像のみ (収録済) **A**
- 1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**
- 1.4.7 小さな背景音、又は背景音なし **AAA**
- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.2 一時停止、停止、非表示 **非干渉 A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

**音声のない動画がある**

自動再生を避け、停止可能に。動画内容を簡単に説明しましょう。また、動画と同等の内容の書き起こしテキストを用意しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.2.1 音声のみ及び映像のみ (収録済) **A**
- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.2 一時停止、停止、非表示 **非干渉 A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

**音声を伴った動画がある**

自動再生を避け、停止可能に。動画内容を簡単に説明。キャプション (丁寧な場面説明) と書き起こしテキストと音声解説を用意しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.2.2 キャプション (収録済) **A**
- 1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済) **A**
- 1.2.5 音声解説 (収録済) **AA**
- 1.2.6 手話 (収録済) **AAA**
- 1.2.7 拡張音声解説 (収録済) **AAA**
- 1.2.8 メディアに対する代替 (収録済) **AAA**
- 1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**
- 1.4.7 小さな背景音、又は背景音なし **AAA**
- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.2 一時停止、停止、非表示 **非干渉 A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

**ライブ音声がある**

自動再生を避け、停止可能に。ライブ音声内容を簡単に説明しましょう。できれば内容を文字情報としても提供しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.2.9 音声のみ (ライブ) **AAA**
- 1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**

**ライブ動画がある**

自動再生を避け、停止可能に。ライブ動画内容を簡単に説明しましょう。ライブ動画であることを明示し、キャプションを提供しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.2.4 キャプション (ライブ) **AA**
- 1.4.2 音声の制御 **非干渉 A**

▼ **テキスト**



**外国語がある**

ページの主要な言語はもちろん、外国語には、lang 属性を正しく用いて、ページで使われている言語を明示しましょう。

- 3.1.1 ページの言語 **A**
- 3.1.2 一部分の言語 **AA**

**リンクがある**

文中のリンクは色を変えるだけでなく、下線を残しましょう。リンクの言葉をわかりやすくするよう心がけましょう。

- 1.4.1 色の使用 **A**
- 2.4.4 リンクの目的 (コンテキスト内) **A**
- 2.4.7 フォーカスの可視化 **AA**
- 2.4.9 リンクの目的 (リンクのみ) **AAA**
- 3.2.1 フォーカス時 **A**
- 3.2.4 一貫した識別性 **AA**
- 4.1.2 名前 (name)・役割 (role) 及び値 (value) **A**

**文字情報がある**

背景色とのコントラストを確保するなど、読みやすくしましょう。文字サイズの拡大やズームで、読めなくなる文字がないか確認しましょう。

- 1.4.3 コントラスト (最低限) **AA**
- 1.4.4 テキストのサイズ変更 **AA**
- 1.4.5 文字画像 **AA**
- 1.4.6 コントラスト (高度) **AAA**
- 1.4.8 視覚的提示 **AAA**
- 1.4.9 文字画像 (例外なし) **AAA**
- 2.4.6 見出し及びラベル **AA**
- 2.4.10 セクション見出し **AAA**
- 3.1.3 一般的ではない用語 **AAA**
- 3.1.4 略語 **AAA**
- 3.1.5 読解レベル **AAA**
- 3.1.6 発音 **AAA**

▼ **画像**



**画像がある**

alt 属性を用いましょう。文字を画像にしている場合は、ほんとうに画像にすべきか吟味しましょう。

- 1.1.1 非テキストコンテンツ **A**
- 1.4.3 コントラスト (最低限) **AA**
- 1.4.5 文字画像 **AA**
- 1.4.6 コントラスト (高度) **AAA**
- 1.4.9 文字画像 (例外なし) **AAA**

▼ **制限時間**



**制限時間付きのコンテンツがある**

理解や操作に時間のかかる人がいます。自動的なスクロールや、画面切り替えを避けましょう。

- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**

▼ **色**



**色を使っている**

「必須項目は赤字です」だけでは、目の見えない、見えにくい人には、わかりません。また、コントラストに気をつけましょう。

- 1.3.3 感覚的な特徴 **A**
- 1.4.1 色の使用 **A**
- 1.4.3 コントラスト (最低限) **AA**
- 1.4.6 コントラスト (高度) **AAA**

▼ **フォーム**



**フォームがある**

label を使いましょう。それぞれの項目には何を入力したらいいかわかりやすい説明をつけ、エラーを返す時にもわかりやすくしましょう。

- 2.2.1 タイミング調整可能 **A**
- 2.2.3 タイミング非依存 **AAA**
- 2.2.5 再認証 **AAA**
- 2.4.3 フォーカス順序 **A**
- 2.4.6 見出し及びラベル **AA**
- 2.4.7 フォーカスの可視化 **AA**
- 3.2.1 フォーカス時 **A**
- 3.2.2 入力時 **A**
- 3.3.1 エラーの特定 **A**
- 3.3.2 ラベル又は説明 **A**
- 3.3.3 エラー修正の提案 **AA**
- 3.3.4 エラー回避 (法的、金融、データ) **AA**
- 3.3.5 ヘルプ **AAA**
- 3.3.6 エラー回避 (すべて) **AAA**
- 4.1.2 名前 (name)・役割 (role) 及び値 (value) **A**

**[alt の付け方]**

(1) alt は、画像の説明です。画像を視覚的に理解できない利用者や、画像の読み込みができない環境で、画像の代わりに情報として使用されます。また検索エンジン対策としても有効です。

(2) 画像化された文字には、文字と同等の内容、写真や図の場合は、「写真:」というような接頭辞をつけるとうい。この接頭辞がないと、たとえば橋の写真が、「橋」という文字なのか「橋の写真」なのか、判別がつかません。

(3) 純粋な装飾や整形のための意味のない画像は、CSS で背景画像にするか、alt="" というように、空の alt にすると支援技術が画像を無視できるようになります。また、空の alt が真に無意味であることがわかるよう、他の alt を丁寧につけるようにしてください。

**[PDF、Word、Excel などについて]**

原則、ウェブページと同じと考えましょう。文字情報を大切に、動画、音声、閃光、キーボード操作、フォーム等に配慮しましょう。

**[一部準拠について]**

アクセシビリティの試験を行う際、ページの一部 (PDF・動画等) を例外とした状態で、適合としてはいけません。たとえば動画について「1.2.2 キャプション (収録済) A」を満たせない場合は「A 一部準拠」とすべきです。

**[非干渉 (Non-Interference)]**

この項目を満たせないと、利用者が情報を得る手段を致命的に損なう達成項目を示しています。利用できるべき他の情報へのアクセスに干渉してはいけませんよ、という意味です。

**[アクセシビリティ サポート]**

ある技術が、UA や支援技術によって実際に利用できるようになっていることを指します。どんな技術で実装すると良いのか、「[アクセシビリティ・サポート \(AS\) 情報](#)」で検索すると一例を確認できます。

**[参考]**

深く理解したい時や最新の情報を知りたい時には、「[アクセシビリティ 解説書](#)」で検索し、「[WAIC \(ウェブアクセシビリティ基盤委員会\)](#)」が提供しているコンテンツを読みましょう。